

UNITE
FOR
GOOD

2025-26年度 国際ロータリー会長メッセージ
『よいことのために手を取りあおう』
RI 会長 フランチェスコ・アレツォ

川崎北ロータリークラブ会長方針
『川崎北ロータリークラブ会員である自覚を持ち、
当クラブを継続性のあるクラブへ』
会長 谷口一成

Rotary  川崎北ロータリークラブ会報

会長 谷口一成 幹事 松山直樹 会報委員長 大塚 正一
事務所：〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス武蔵小杉 104 TEL 044-722-8037 メール：knrc@nifty.com
URL：http://kawasaki-north-rc.blue.cocan.jp/ 例会：毎週水曜日 12：30 二子玉川エクセルホテル東急

第3103例会

令和7年7月16日(水)

(本年度第3回)

点 鐘

谷口一成 会長

司会と斉唱

帯谷昌充 会場監督

原浩子 ソングリーダー
「それこそロータリー」

| | | |
|--------------------|--------|----------------------|
| 会員数 35名 (対象外2名) | 出席 22名 | 欠席 14名 出席率 64.71% |
|--------------------|--------|----------------------|

| | | |
|------------------|--------|----------------------------|
| 前々回訂正 (対象外1名) | 欠席 10名 | MAKE UP 1名 訂正出席率 77.14% |
|------------------|--------|----------------------------|

お客様紹介

谷口一成 会長

川崎中RC 内藤幸彦様 (ゲスト・スピーカー)
川崎中原RC 小林正樹様 (ゲスト・スピーカー)
川崎とどろきRC 柳下節子様 (ゲスト・スピーカー)
川崎鷺沼RC 小川湧三様
川崎とどろきパーク株式会社 代表取締役社長
三木尚様 (吉田会員、帯谷会員ゲスト)

会長報告

谷口一成 会長

1.7月15日(火) 第2グループ会長・幹事会の報告

幹事報告

松山直樹 幹事

1.地区からの来信

- 2028-29年度ガバナーノミニ候補者推薦についての文書が届いております。
提出締切：9月10日(水)
- 「クラブサポートミーティング」開催のご案内と日程についてご連絡が届いております。
第1回 2025年8月5日(火)
各回とも 19:00-20:00 Zoomにて
第2回 " 10月5日(日)
第3回 " 12月5日(金)
第4回 2026年2月5日(木)
第5回 " 4月5日(日)
第6回 " 6月5日(金)
※各回とも必ず1名は出席の事。
出席対象者：会長とクラブ行動計画推進リーダー
- 地区主催「世界ポリオデー」イベント開催のご案内が届いております。
日時：2025年9月7日(日)11:00-17:00
場所：横浜市役所アトリウム
オリジナルTシャツ(昨年度と同じデザイン)着用の上、是非会場にお集まり下さいとの事。
オリジナルTシャツを新たに購入ご希望の方は、受付にてお申込みください。
※詳細については、資料をご覧ください。

- RI第2660地区より《再》大阪・関西万博テーマウィーク「平和構築と人権擁護」- アジェンダ2025 参加プログラム ライブ配信視聴登録のお願いが届いております。
※7/11メール配信済
日時：8月1日(金)
10:00-11:50 基調講演：甲南大学中井学長・元財団奨学生 活動報告
13:10-16:00 探求とテーマ発表 I A C 平和と人権への提言

2.他クラブ例会臨時変更

- 横浜南 RC 8月9日・16日(土) 休会
- 川崎西 RC 8月15日(金) 休会
- 横浜中 RC 8月15日・10月31日(金) 休会

3.2025-26活動計画書をお送りいただきました。

川崎中 RC・川崎中原 RC・川崎とどろき RC・川崎西 RC 回覧いたします。

4.例会等のご案内

- ・8月13日(水) 休会
- ・8月20日(水) 例会
会員増強新クラブ 結成推進月間卓話：妻鹿委員長
- ・8月27日(水) 第5回地区大会実行委員会
15：00-17：00 於：ユニオンビル
会員増強・親睦夜間例会：点鐘 18：00
二子玉川エクセルホテル東急

お客様挨拶

川崎とどろきパーク(株) 代表取締役社長
三木尚様



本日は貴重なお時間をいただき、挨拶とお願いにやって来た次第です。川崎とどろきパークという会社は、中原区にある等々力緑地の管理運営、そして再編整備をするというような会社で、東急、富士通、丸紅、オリックスなど9社からなる会社です。既にもう2年程、等々力緑地の管理運営を行っていますが、この年末頃からいよいよ再編整備工事に着手します。5年ほど工事をし、その後23年程の運営を経て、この会社は無くなる、こういうような会社です。年末頃から工事が始まるとダンプが通ったり、公園の半分が仮囲いに囲われてしまったりと色々と状況が変わりますし、再編に関しましては、昨今工事費が高騰しているのに本当に着工していいのか、木を切って店を作っているのか等、色々な話があります。我々の情報提供が非常に不十分だと感じておまして、色々なところで機会があれば喋らせてくださいとお願いをしているところです。

たまたま、高校の同級生に帯谷さんという野球部のスターがいましたので無理やりお願いをして、こういう挨拶とお願いの時間をとってもらったわけでございます。

お願いというのは先程言ったことと同じになるのですが、ぜひ等々力のお話を聞いてほしいな、と。いつか議案の少ないような回でもあるようでしたら、少しでもお話を聞いていただけたらというふうに思っております。

また、私もここから30年間等々力におりますので、ぜひ長い付き合いをさせて頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

クラブフォーラム

ゲスト・スピーカー

2025-26年度 地区副幹事

川崎中原RC 会員増強・職業分類・会員選考委員長 小林正樹様



私は平成6年1月に入会をさせて頂き、もう31年目になります。当時、ちょうど私が入会したばかりの時に、先輩から「小林さん、奉仕というのはするものじゃなくて、させていただくものなんだよ」というようにご教授いただきました。当時入会したばかりですので、何が奉仕で何が享受なのか、何をさせて

いただくのかもよくわからないままロータリーを続けてまいりましたが、10年、20年、30年近く経ってから、なるほどなと思うようになりました。当時のロータリークラブの考えが、職業奉仕ということがやはり一つの大きな理念、そしてまた「I Serve」というのは、もちろん私も奉仕をしますというところが、ロータリークラブの教えでありました。

私の思うところのロータリーは、やはりよく学ぶところ、そしてよく楽しむところ、そしてよく奉仕をするところ、この3つが自分なりの3原則として自分でとらえています。

皆さんには釈迦に説法になってしまうけれども、自分の利益を優先するのではなく、人の利益を考えて、自分はそこに感謝を忘れないというような教えだと思います。サービスということが一つの大きなキーワードになります。サービスは日本的な仏教の解釈でいくと、やはりそこには感謝ということにつながるような気がします。自分の会社を成り立たせていただいている、支えてくれている従業員の方を大切に支え、そしてまた取引をしている方を大切に下さい。その人たちも利益を優先することによって、自分は会社を成り立たせていただいているんだよというような、その教えで出来ているような気がします。感謝というのは誰でもできる身近なものですので、やはり感謝をもって自分を支えてくれる人たちに貢献して下さいというのが一番の奉仕、これも職業奉仕でいいと思うんです。

これは余談ですけども、1981年ですかね、阪神タイガースの大投手、江夏投手が日本ハムにトレードに行った時に、グラウンドがその多摩川のところにありました。江夏豊さんはグラウンドに入ったときに一礼をして、まず最初に向かったのが監督さんではなくて、グラウンドキーパーのところに行きました。

そこで深々と頭を下げて、「今度日本ハムに入団しました江夏豊です。よろしくお願いたします」と一礼をしたそうです。やっぱりそれはみんながちょっとびっくりしたというか、

でも、江夏さんという方は、マウンドで自分のパフォーマンスを出して、観客に喜んでもらう一つの個人事業主ですから、その自分を支えてくれるグラウンドキーパーの方に深々と頭を下げる。そのあり方がすごく何かロータリーを見ているような、そんな気さえていました。そんな話を当時の日本ハムのマネージャーの先輩が教えてくれました。

最後に我々のクラブでは青少年奉仕委員会で毎年一回、3人、4人のチームを作りまして、各中学校、小学校に職業講話というところの題目で話をしに行きます。そして子供たちがそれを聞いて感想の手紙をくれます。その感想の手紙を見ると、ああ、自分たちの話はこういうように相手に伝わっていたんだ。子供たちは率直にこういう意見をくれたんだと思います。これは結局、自分たちは子供たちに話をさせていただいたんですが、自分たち自身がそこで話をさせてもらったことで学んだということに気づかされます。やはりそういう奉仕というのは、もちろん相手にさせていただくことなんですけれども、必ずや自分に返ってくるという一つの学びの場であるということ。ロータリーはいろんなチャンネルがありますが、自分が研鑽をし、そして相手に感謝をし、自分が学ぶということが奉仕だというふうに思います。

ゲスト・スピーカー

2018-19年度 第2グループガバナー補佐

2025-26年度 地区ロータリー平和フェローシップ委員長

川崎とどろきRC 直前会長・R財団委員長 柳下節子様



わたくしは父が川崎北に入会しましたので、こちらの周年行事の時に受付の手伝いを大昔いたしました。ジェクトの市川会長、岡本PG、毛利先生は父達と一緒にの時期でした。また、谷口さんのお父様もうちの父がお世話になったという事もありまして、ここへ来るたびに、北クラブの変遷を垣間見ることが出来ます。

私たちクラブの奉仕活動のことを3つお伝えしたいと思います。

中原区で子供たちのドッジボール大会を行っており、今年で4回目を迎えます。そして、地区補助金をいただいて、中原区の住吉小学校にアダプターとタッチペンを百個贈与して大変子供達に喜ばれました。今年の地区補助金は中原区にあります児童養護施設、新日本学園にスポーツのユニフォームとしてTシャツを贈与し、そこに大きくロータリーロゴを入れるということをしており、地域に還元するという奉仕に特化しております。子供たちが喜ぶ顔が浮かんだりして、そしてこの子供たちがロータリークラブのことを理解し、近い将来、そしてもっと未来の将来にロータリークラブのことをちょっと確認して貰えるのではないかなという期待をもって接しております。

ゲスト・スピーカー

2017-18年度 第2グループガバナー補佐

2025-26年度 川崎中RC 拡大増強委員長 内藤幸彦 様



私は川崎ロータリークラブに昭和63年、昭和の最後の会員として入会させていただき、今年で37年目になります。

入会の動機はロータリークラブの国際奉仕活動を私自身がやりたいと入会しました。

私は昭和47年から2年間、青年海外協力隊で天然痘監視員として子供たちに種痘をするボランティア活動をしておりました。今から考えると、本当によく歩いたものです。10日から2週間くらい野外でテント生活をしながら、毎日徒歩で子供たちを探して家々を回って、医療の全然ない僻地の村の子供たちに天然痘の種痘をしていました。多い時には1日に300人から500人の子供たちに種痘をした記憶があります。

エチオピアでまず実感したことは、先進国とは違う絶対的貧困です。日本などでは比べる事ができる貧困。この家にはピアノがあるけど、うちにはピアノがない。この家のお食事はこうだけど、家はこうだ、とか比べることができる貧困なんです。発展途上国というのは本当に何にもない貧困なんです。それを絶対的貧困って言うと思うんですけど、明日の食糧もなく、病気にかかっても薬品もなく、病院もなく、汚い水とか不衛生な生活環境の中で死ぬかもしれないような日々を送っている。

そういう僻地の山岳農村地帯の子供たちを探しては写真を見せて、天然痘ってこんな怖いんだよと言ってきかせます。ですから、私たちが一番最初にエチオピアの言葉のアムハラ語を学んで、喋りながら子供たちを集めて話をし、天然痘の種痘をして歩きました。

女性は女の子も含めて毎朝早くから裸足で約30分から1時間水汲みに行き1日を始めます。その水は家族が1日に使う水です。毎朝、朝早くお母さんと一緒に水汲みに行くのが一番の女性の習慣なんです。

衣服も真っ黒けで、もう着たきりすずめです。一年中同じ服を着て、子供と一緒に重い水を、水瓶を頭とか背中に乗せながら家まで歩いて行って、水はだいたい山の下の方にありますから、そこまで汲みに行き1日を過ごす。

それで男性は何をしているかというと、男の子もそうなんですけど、石ころだらけの乾燥した地面を牛に引かせて、棒切れで耕してるんです。あとは牛や羊を放牧させて、それから子供たちが倒木で薪を集めたりしてました。

時には村長さんとか親切的な農家に泊めてもらうこともありましたが、テント生活をしてますと、夜中にハイエナがぐるぐる近くに来て、食べ物を探しに歩き回ることもあったので、農家の家に泊めてもらえるのはほんとに一晩でした。ただ、歴史の教科書で並ぶような縄文土器みたいな掘っ立て小屋で、外側が全部家畜の場所です。ちょっと境があって、人間が内側に寝ますから、それこそ一軒の家の中に牛、羊、鶏と一緒に住んでいて、内側に我々が寝るんです。

ある夜ですけど、とても貧しい家に泊めてもらいました。その時、寝る時になって、10歳ぐらいの女の子が私の足を洗いに来てくれたんです。その足を洗いに来たのもお湯

を持ってきたんです。つまり、朝汲んできた水で、子供たちが拾った薪で温めてお湯にして、その客人である泊まっている僕の足を洗いに来てくれまして、洗った後になんと足の親指にキスしてしてくれたんです。

もうその時は涙が出るくらい感動しました。だって皆さん、足を洗ってもらったことがあります？ 私はそれが人生最初で最後だったんですけど、これはお客に対する最高のおもてなしだと思うんです。学校にも満足に行っていない子供が、たまたま泊まりに来た客の足を洗いに来てくれて、口づけまでしてくれた。すごく感動しました。私はそんな子供たちを応援したくてロータリーに入りました。一人でできることは本当に些細なことかもしれませんが、ロータリーのみんなで力を合わせれば、きっと大きなことができると思って、大きな国際奉仕のプロジェクトになると思って参加しました。

昨年9月、11年ぶりに第12回エチオピア教育支援に行きました。おかげさまでこれまでの11回でアジスアベバの学校には、長机と椅子が一緒にくっついている三人がけの椅子付き机があります。アジスアベバではそれが普通に学校にあるんですが、やっぱり私が天然痘で行ったような田舎の奥の方ではとてもとてもそんなのがありません。

それで、みんなが地べたに座ったり、石ころを持ってきて座ったり、あっても丸太棒があるぐらいです。だから日本でお金を集めて、向こうの地場産業にお願いして作ってもらいます。その時にはロータリークラブの皆さんからご支援をいただくこともありました。あとは武田社長がフロンターレの時から私のことを応援してくださっています。

フロンターレの中古ボール、リーガーが使っている中古ボールってすごいがっちりしてて素晴らしいんですよ。何が一番喜ばれるかって、そのリーグのボールが本当に喜ばれます。武田社長がフロンターレを去っても、その後の方がずっと応援してくださってまして、本当にこの場を借りてお礼申し上げます。

今まで11回まで2000脚の三人がけの椅子、机を贈呈できました。去年9月に11年ぶりに第12回目の教育支援を行ってまいりました。11年ぶりなのはコロナがあったり、政情不安があったりして行けなかったからですが、なんと物価がすごく高くなって2.5倍くらいに跳ね上がっていました。昔は7、8000円でできた机がもう2万数千円じゃないとできないというので、去年は12回目は120脚をやっと用意できて、2120脚。子どもたちが3人がけのところ、3人どころか4人も5人も座って、みんなニコニコしてるんです。

さっき小林さんが人に喜んでもらえることは、いつか自分に返る。つまり私たちボランティアは、情けは人のためならずという事を仰いましたが、やはり人のお役に立つような生き方をしていると、いつの日か自分なり自分の家族にそれが戻ってくるということで、そういう形で私と川崎中ロータリークラブは国際奉仕活動としてそういうことをさせていただきました。

あと2つほどお話したいことがあります。まず一つ目ですが、私が川崎中ロータリークラブに入った時にはかなり豪快な先輩がいらっしやいまして、自クラブで出席を100パーセントして十数年経っている方がいたんです。あと、月間のロータリーの出席率は300、400パー

セント。つまり自分の家で飯を食べないで、昼、あちこちに行き食べてるんです。そういうすごい方がいらしたんです。私も何か目標を立てようと思って、たまにしか海外に行く事はないのですが、海外でのメイクアップを100回しようと思って目標を立てました。アメリカに行かせていただいたり、たまたま長女がイギリス人と結婚したのでイギリスに行ったりとかして、67回までやったんですが、これがぴったりと止まってしまっています。それを復活させようかと考えているのが1つ。

それから1980年にWHOより天然痘が撲滅、根絶できたという根絶宣言が出ました。さて、コロナでみんな、世界中がこのエピソードで大変な思いをしていたと今でも思っていますが、これらの前の疫病は何だったんだろうという事で、天然痘が急に脚光を浴びました。今年の6月、中学校の社会科の教科書が届きました。「ともに学ぶ人間の歴史 中学社会 歴史的分野」の中に、感染症に立ち向かうという項目がありました。その中に天然痘が撲滅されましたよ。その時に青年海外協力隊がすごく役に立ちましたよというので、なんと私の写真がここに載ったんです。やっぱり人のために尽くすってことは、すぐじゃないかもしれないのですが、別に有名な人にならなくても、好きで人のためになるような国際奉仕をやったんですが、いつかはこうやって評価される。50数年ぶりの評価ですが、人生この歳になって、そういう形で自分が若かりし頃やった活動が評価されたんだな、とすごく嬉しく思いました。

この中には若いロータリアンの方もいっぱいいらっしゃると思うんですけど、私にとってロータリーの真髄は、自分の好きなことをする。例えばカラオケが好きな人はカラオケ同好会を作って、仲間と一緒に楽しい時間を過ごす。社会奉仕、子供たちが喜ぶ姿を見るのが好きな人は社会奉仕をして一杯、子ども食堂とか、今困っている子供たちを応援する。私みたく、海外で本当に貧困で苦しんでいる子供たちを助けたいと思う。頑張ってお金貯めて、海外へ行ってできることをする。それで自分の好きなことをするのがロータリーでもいいことじゃないかと思えます。それをすれば、必ずいつかはそれが評価されることもあるかなと私自身は思っていて、本当に幸せなロータリー生活だなと思っております。



ニコニコレポート

妻鹿琢生 副会場監督

川崎中ロータリークラブ 内藤幸彦様

川崎とどろきロータリークラブ 柳下節子様

川崎中原ロータリークラブ 小林正樹様

本日のクラブフォーラム、3名で力を合わせて卓話をさせていただきます。

それぞれのお話に皆様の参考にして頂ければ幸いです。

川崎鷺沼ロータリークラブ 小川湧三様

今年度もおせわになります。

谷口会長、クルーズ由美子副会長、松山幹事

長雨・豪雨が続けておりますが、梅雨明け間近、すぐに猛暑となります。気温変化の激しい折、どうぞご自愛ください。本日はクラブ奉仕委員会担当のクラブフォーラムです。

卓話者として川崎中 RC 内藤幸彦様、川崎中原 RC 小林正樹様、川崎とどろき RC 柳下節子様にお越し頂きました。ありがとうございます。近隣クラブの奉仕活動について学ばせていただきます。

また、本日のゲスト 川崎とどろきパーク株式会社 代表取締役 三木尚様 ようこそいらっしゃいました、例会をお楽しみください。

川野正久君

川崎中、川崎中原、川崎とどろき各 RC 様のクラブ奉仕活動の報告楽しみにしておりました。

SAA：帯谷昌充君、菅沼舜君、加瀬健史君、末永直君、妻鹿琢生君

本日は川崎中 RC の内藤様、川崎中原 RC の小林様、川崎とどろき RC の柳下様、ようこそお越しくださいました。川崎とどろきパークの三木様、当クラブの例会をお楽しみください。

親睦委員会：横山芳春君、斎木貴君、峯岸雅宏君、大西陽子君、原浩子君、松波登君

ゲストスピーカーの内藤様、小林様、柳下様、そして川崎とどろきパーク（株）の三木様、足元の悪い中ようこそお越し下さいました。当クラブの例会とお食事をお楽しみ下さい。

ゲストスピーカーの皆様、本日のフォーラム楽しみにしております。

RLI：半澤剛君

本日は多くの方々のご来会に心から感謝申し上げます。

今後の予定

8月13日 休会（一般に認められた祝日）

8月20日 会員増強・新クラブ結成推進月間卓話